

西川 コミュニティだより

第63号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和7年9月24日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

文化の保存と継承と。

新潟市立西川図書館館長 辰口 裕美



とがわかります。

この新しいホールのこけら落としが、西川町閉町記念式典でした。町制から政令指定都市へと向かう激動のタイミングでのオープンは、地域の方たちとの協働があつてこそ、うまくいったものと思います。



西川図書館&多目的ホールは、おかげさまで開館20周年を迎えました。

当時の広報誌から、旧西川町民の悲願の施設だったこ

図書館は、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、(略)」と、図書館法で定められている施設です。

ここでいう「保存」とは、次の世代が利用できるようなつなげていくことも含んでいます。

このような世代の継承の視点から、昨年度行った「にしかわ昭和・平成の写真展」を紹介します。これ

は、地域の方が集めた懐かしい写真を、エントランスホールに展示したものです。当時のこども遊びや越後曾根駅の風景、ギネスブックに挑戦した「太巻きづくり」の写真などが並べられました。この事業で特にすごいと感じたのが、来館した方だけでなく、曾根小学校の授業の一環としてこどもたちが、展示を見ながら地域の方からお話を聞く場に立ち会えたことです。この施設が、地域の文化の継承の場としての役割を果たすことができたことに感激しました。

そして、もうひとつ紹介したいのが「美化ボランティア・ディスプレイチーム」の活動です。



図書館開館当時から、壁面の飾りつけに協力いただいているボランティア団体です。風除室のガラス面のほか、館内にその作品を見ることが出来ます。最近の作品では、地域の茶の間や高齢者施設の方が作った塗り絵をコラージュしたものもあり、見る人・作る人が、この施設のなかで、世代を超えて交流しています。

これからも、西川地域の交流拠点、文化の継承拠点として、皆さんと一緒に考え、作り上げていけたらと思っています。

※ディスプレイチーム10周年記念展示を開催中。

(10月22日まで)

「西川まつり」の御礼とお願い

西川まつり実行委員会 会長 八百板 勲

今年の西川まつりも、多くの方々のご協力をいただき無事終えることが出来ました。参加された皆さま、見学された皆さま、ご協賛くださった皆さま、ありがとうございます。悪天候の為、予定事業の一部を中止しましたが、まつりを通じて、西川地区市民の親睦を深めると共に、地域の活性化に貢献できたものと思っています。

酷暑の中、熱中症を心配しましたが、皆様からのご協力、ご協賛を頂き、無事に開催することが出来ました。鎧郷小学校の児童の皆さんからもご協賛をいただきました。

江戸時代から連綿と続く傘鉾行列などの伝統を守りながらも、時代の要請に合わせて、西川まつりも変化していきますが、これからもご協力いただきますようお願いいたします。



迎えの屋台が来ましたよ。(8月24日・九番町)



傘鉾が集合(8月24日・九番町)

令和7年時代激まつり

がっどー西川実行委員会

【日時】10月12日(日)

【会場】西川ふれあい公園

今年の代官役はビッグ・T・H・E・良寛さん(新潟プロレス)。奥方役には歌う看護師、入山アキ子さん(テイチク)。「代官献上米行列」、「献上米セレモニー」や迫力あるプロレス技の掛け合い、歌謡ショー、お楽しみ抽選会などを開催。屋台・キッチンカーも多数出店します。

尚、詳細は、チラシとかわら版にてご案内いたします



西蒲中央病院みさと祭に お越しください

【日時】10月18日 13時〜15時30分

【内容】西蒲中央病院みさと祭を今年も開催いたします。看護師による無料の健康チェックやゲームコーナー、野菜の直売など皆さんに楽しんでいただける内容をご用意してお待ちしております。職員一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

※駐車場あります。

【連絡先】西蒲中央病院

TEL: 0256-88-5521



【消防署だより】

救急車の適正利用をお願いします

西蒲消防署西川出張所長 樋口 博之

突然の激しい頭痛、呂律が回らない、片側の手足が動かない、締め付けられるような胸の痛みがあるなど、緊急性の高い症状が見られたとき、若しくは、あなたの近くにいる人が、突然目の前で意識を失い倒れたときは、すぐに「119番」へ通報し、救急車を呼んでください。その際、お薬手帳と保険証を準備しておくとう良いでしょう。

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、かかりつけのお医者さんに相談することをお勧めします。休日・夜間の相談窓口として、救急医療電話相談(＃7119)小児救急医療電話相談(＃8000)があり、電話で相談し助言を受けることができます。対応可能な時間は、月曜日〜土曜日18時〜翌日8時で、日曜日、祝日、ゴールデンウィーク及び年末年始は、24時間となっています。

救急車は、限られた資源です。適正利用にご協力をお願いいたします。

救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

7 1 1 9

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-284-7119

小児救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

8 0 0 0

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-284-2525

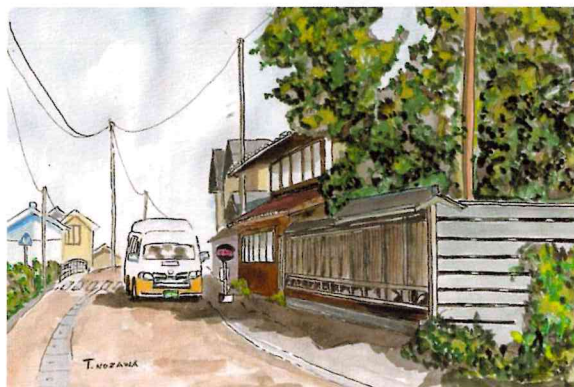
片道270円のバス旅

西川まち歩き会事務局 野沢 達雄

しばらく前、こんな新聞記事を見かけました。

「自身や家族の運転による自動車を利
用しない高齢者で、徒歩圏内に駅やバ
ス停が「ない」人は、「ある」人に比
べて、3年後にうつ傾向になるリス
クが1.6倍になった」（2025年4月4
日付「朝日新聞」）

千葉大などの研究チームが全国の約5
千人を対象にした調査です。研究チ
ームの1人は「公共交通へのアクセ
スを維持・改善することは高齢者のう
つ対策に役立つ可能性がある」と指摘
しています。



バス停「曾根四番町」付近を行く路線バス。
いい乗り心地です

いまは運転できる人も、いつかは運
転できなくなります。そういう私も現
在69歳。いつまで運転できるだろう
かと考えることがあります。

たとえ運転できなくなっても、電車
やバスを使って出かけられる。心身
の健康のためにも、そんな環境を将来
にわたって維持していきたいものです。

自称「乗り鉄」「飲み鉄」の私は越
後線によく乗るのですが、最近「バス
も楽しいね」と思うようになりました。
きっかけは越後曾根駅前発―白根行
きの路線バスです。

以前からある路線ですので、「時々
乗る」「乗ったことがある」という方
もいるでしょう。私は遅ればせながら
つい数ヶ月前に初めて乗りまして、白
根の大風合戦を見してきました。いつ
もは車で出かけて公共駐車場に止め、
シヤトルバスに乗り換えて会場へ、と
いう手順を踏みますが、これを面倒に
感じる時もありました。アルコールも
味わえません。

これが路線バスだと、平日なら曾
根駅前発午後2時20分に乗って20分
少々。白根のバス停「三の町」で下
りると目の前が風揚げ会場です。徒
歩1分。運転しないので缶ビールを
飲みながら小1時間ほど見物。同
じバス停から午後3時57分発に乗
ると、午後4時24分に越後曾根
駅前に着きます。楽ちんです。

この路線。正式名は曾根―熊谷―白

根線」といいます。太陽交通新潟が、
いわゆる「ジャンボタクシー」を使
って運行しています。越後線に概ね
接続していてダイヤは正確です。

さて運賃。曾根駅前から白根のま
ちなまで片道540円ですが、65歳
以上なら、シルバーチケットを使
えば半額の270円に。シルバーチ
ケットは西川出張所の窓口で簡単
な手続きをすれば、シルバーチケ
ット参加証とセットで受け取れま
す。

マイカーならパツと行ってサツと
帰ってこられるじゃないという向
きもおられるでしょうが、たまに
は運転をプロに任せて、特段の用
がなくてもバスに揺られて、隣町
まで散歩に、なんていうのも楽し
いと思います。

実は、白根のあるバス停近くに、
おもしろい焼鳥屋さんがあります。
そのご報告は、いつか機会があり
ましたら、このページで。

シルバーチケット参加証

有効期限

令和 8年 3月末まで

参加証番号

NKR07-0687

氏名

野沢 達雄様

発行:新潟市都市政策部都市交通政策課 TEL.025-226-2725

シルバーチケット

令和 年 月 日

正規運賃を記入
(半額運賃ではありません)

¥ 記入なきもの無効

シルバーチケット参加証とシルバーチケット
(参加証は年度末に更新)

【文化】

「アイヌ・ユーカラ」を描いて六十年

中野 雅友



「なぜ、アイヌ・ユーカラですか。」

「子どもの頃から、画を描くことが大好きでした。一生描き続けるには：と考

えたら、アイヌだったんです。」と瞬、少年のように純粹な目が輝いたように感じられた。父親の転勤で北海道函館に住んだことがアイヌとの出会いのきっかけとなり、油絵で描

き続けて六十年。同一の画題と取り組んできた。文字を持たず、口伝えで独自の文化をはぐくんできたアイヌと向き合ってきた。

ユーカラ・神謡という口承文化に対し、キャンバスにアイヌの人々、民族衣装、幸せを呼ぶ神の使いフクロウを力強くまた親しみを持って創り上げてきました。

多彩な色彩と力強い筆使いで描き上げた初期の作品は強烈な印象を与える。六十年を経た今は、優しく洗練された作風の印象を受ける。

だが、自然と共存し、自然の摂理に従って生きるアイヌの人々と共に生き、「アイヌ・ユーカラの世界」を表現し続けていくことでしよう。

（文責／編集部・灰野）

【六番町の多賀はきもの店の一角は中野さんのミニギャラリーとなっています。】



イヨマンテ 2017年 F130号 油彩
第103回光風会展 光風会会員賞



ユーカラの詩 2016年 F100号 油彩
改組 新 第3回日展



澤将監の館 襖絵 葡萄之図
中野画伯により伊藤若冲を模して描かれました。



ふくろう三兄弟 2010年 F30号 油彩

秋の虫の音(ね)オーケストラと星空

個人天文台長 吉崎 正人 (鎌2区)

夏も過ぎ去り、秋になり、夏の後半から聞こえ始めた虫の音が数多く重なり、まるでオーケストラのごとくにぎやかになってきました。



秋は「行楽の秋」「食欲の秋」といろいろ言われていますが、日中は家族でフルーツ狩りなどを楽しんでいただき、夜はぜひ虫の音(ね)オーケストラをバックに夜空をながめてみてはいかがでしょうか。

月夜はホットコーヒー片手に、月の神秘さと美しさに酔いしれて、クッキーなどを口にしながらひと時の贅沢な時間を味わってみて下さい。

月のない晴れた夜は、澄みきった空気感の中、またたく無数の星々をひとりじめしましょう。できれば星座早見表を手に入れ、秋の星座をさがしてみて下さい。星座を見つけた時の感動は一生の宝物となることでしょう。



下に10月1日夜8時の東の星空を載せました。手始めに東の方向をながめ、星座さがしてみて下さい。もしかすると、一筋の光が走るかも…流れ星です。

秋の大四辺形をさがしましょう

東の空にペガサスの大四辺形が昇ってきています。黄色矢印の4つの星がそれです。今年には右下に土星が花を添えています。土星はまたたかないので、すぐわかると思いますが、目を左の方に向けると、Wの形で有名なカシオペア座を見つけることができます。



アンドロメダ大銀河とハート星雲

大四辺形の星の二つはアンドロメダ座のアルフェラツツと言う星です。この星の左方向にはアンドロメダ大銀河があります。楕円形で中々の見ごたえです。ガスみたいにもやつとしていますが、これすべて太陽のような星の集まりです。私たちが天の川と呼んでいます。ずつとずつとはるか遠くの方から眺めることができたなら、このアンドロメダ大銀河と同じ形で見えると思います。ああわくわく感が止まらない！

もう一つ愛らしい星雲を紹介します。カシオペア座の下方少し離れたところにハート星雲があります。目では見えませんが時間をかけて撮影すると素敵なハートが現れます。恋のお守りとして1枚いかがですか？ 声かけて下さい、差し上げます。

お・わ・り



◀アンドロメダ大銀河



◀ハート星雲

【郷土史料】

大切な郷土史料⑨

生前著名だった画家・
伝川白道子

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

西川町では後世に記録したい画家が何人も輩出されている。旧郡内では特に多いのではないか。名前を挙げてみると、

- 多賀 春塘（二七九九？～一八七九）
- 多賀 二峰（一八二四？～一八九七）
- 加藤 狂涛（一八四二？～一九二三）
- 多賀 春洞（一八四六？～一九二三）
- 熊倉 光好（一八六二～一九三七）
- 伝川白道子（一八八八～一九六三）
- 白倉 嘉入（一八九六～一九七四）
- 渡辺 更響（一八九七～一九四五）

以上八人に上る。中から今回は伝川白道子を紹介したい。明治十七年（一八八八）鎧郷村天竺堂に生まれる。一時、時計工に就くも好きな画業を志して上京、同郡生まれの有名な日本画家・尾竹竹坡に師事。三度の破門のエピソードを持つ。のち大阪、信州に転住。

注目すべきは、相馬御風の推薦文を得て昭和十六年第二回個展を開く（東京か）。その後も数回個展が準備された資料が残るが、昭和三十九年には驚くことに銀座三越本店での個展も企画。実現したかは、今後調べたい。この頃、東京から新潟市南浜通に會津八一を訪問し、激励を受けたらしい。

戦後、二時巻町九区に住むも再度上京。最期は昭和三十八年（一九六三）川崎市内で没した。昭和四十年に三回忌供養のため、巻町公民館で遺作展が開かれた。また五十年代、三男の浩氏が町議会議員をつとめていた関係上、西川町ロータリークラブ周年行事として、西川中学校で遺作展があつた。

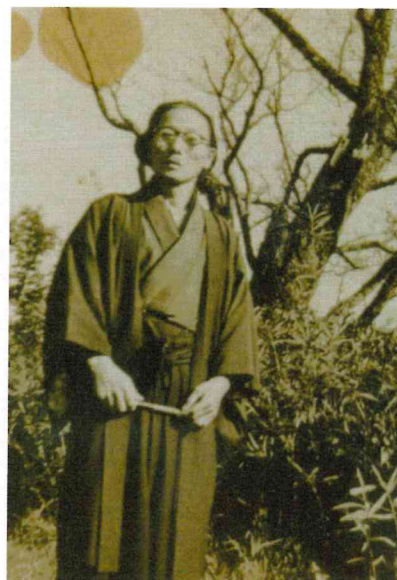
江戸期から続く町の割烹・天川屋伝川氏は白道子と有縁の人で、多くの教示を賜った。



なお私たち文人研究会は、今年十二月八・九日に西川図書館で、町の自称お宝資料を集めた企画展を準備している。白道子の遺作も出品する予定で、多くの方にご覧いただきたい。



白道子作「三原山」(本紙75×89cm・一九三五作)



伝川白道子肖像

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ④

ガンバって かいたよ！

みずほ幼稚園



「スイカ割り」

職場体験に来た高校生の
お兄さんお姉さんたちと
スイカ割りをしました。
楽しかったよ。

きく組 原澤 虹
相馬 仁菜

「プール遊び」

暑い夏、屋上での
プール遊びは気持ち
よくて楽しかったです。

きく組 山本 愛生
高橋 英叶



「バスに乗ってゴー」

友達と一緒にバスに
乗ってお出かけする
ところをかきました。
どこに行こうかなあ

ゆり組 高橋 温
倉部 柊伽
野島 陽葵



【コミュニティセンター講座案内】

大人の為の小筆講座

書道家・筆跡診断士 三條 玉環

西川コミュニティセンターにて、小筆講座を開いて
おります。

毎月最終木曜日、季節の言葉や絵手紙、のし
の書き方、ひらがなの練習などを題材に、参加者
の皆さんとゆつたり筆を持つ時間を過ごしていま
す。

書道は、無心で取り組めることから「書く瞑
想」とも言われます。日々のいそがしさの中で、
あえて自分と向き合う時間を持つことは、案外
難しくもあり、とても大切なことです。筆で文
字を書くことで心が静まり、気持ちが整う感覚
を味わえます。

講座では、筆の使い方や文字の形を丁寧に整
えることで、自然と美しく書けるようになるこ
とを目指しています。「気持ちがすっきりした」
「文字を書くのがたのしくなった」と、嬉しい声
もいただいています。

道具はすべて貸
出可能ですので、初
心者の方もあんし
んしてご参加いた
だけます。

午前10時～11時30
分／午後13時30分
～15時の2回開催
(各回2,000円)

筆を通じて、少
し特別な時間を過
ごしてみませんか。



【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」2作目パート④

秋淋し 天心の月 雲に入る

本間 琴友



【大意】

旺盛な繁殖を見せた夏が行
き、凋落の歩みを早める秋は淋
しいなあ。折から、天の真ん中
に照り輝いていた月が、あいにく雲
に入ってしまった。なんとまあ淋
しいことよ。

※月への憧憬の句

やせずねに せおはされけり 稻一荷

眞島 嵐郷

【大意】

吸い込まれるような秋空。
刈った稲束を天秤棒の両端に掛
け背負って、家へ運ぶのだ。若い時
は軽々と運んだものだが、老いて
痩せ細った臍では二人分も運べな
くなったよ。



※昭和初期の稲作業と老いを詠んだ句

(次号へ続く)

【図書館】

西川図書館20周年を迎えて

新潟市立西川図書館 片桐 愛子

令和7年7月23日で西川図書館は開館20周年を迎えました。

記念イベントとして、7～8月に「あなたのいちばん星教えてください」と題し、皆さまから西川図書館での思い出や、本にまつわるエピソードを募集し、館内に掲示をしました。「こどもと一緒に図書館に通っている」「赤ちゃんの名づけに図書館の本を借りた」との声もあり、皆さまの人生の1コマになっていることを嬉しく思いました。そのほか、来館したこどもたちには、当館オリジナルキャラクター「としよかん博士」のぬり絵を楽しんでいただけました。

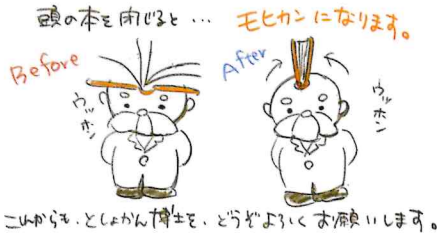
これまでの20年間、西川図書館は地域と

ともに歩んできました。これからは、趣味や憩いの場として、また地域の課題解決の手がかりとして、図書館をぜひご活用ください。

©志田典子

西川図書館 20周年記念!!

西川図書館 20周年記念!! としよかん博士の製作者が、こどもにDIYを、博士の設定。



こどもから、としよかん博士で、どうがよいくお楽しみします。

【公民館主催事業】

公民館事業のご案内

西川地区公民館

去る7月20日、西川多目的ホールを会場に公民館主催事業、音楽と芸術に親しむ集いで、西川地区出身のシンガーソングライターAZUSAさんのピアノ&ギター弾き語りコンサートを開催いたしました。地元西川中学校の同級生や地域の方など多くのご来場をいただきました。出演されたAZUSAさんも「改めて皆さまと音楽でつながれたことの喜びを実感しております」と感想を述べられています。公民館としても、ご来場の皆さまやAZUSAさんには、感謝の言葉でいっぱいです。ありがとうございました。今後も、こうした地元にご縁のある方のコンサートを開催できれば良いなあと思っております。

さて、今後の秋の事業予定としては、10月に西蒲区社会福祉協議会と共催で「傾聴講座」や県立歴史博物館と共催で「佐渡の金銀山絵巻」の講座を開催します。また、昨年好評でした「スマホ講座」と新規事業の「ミニ野菜づくり教室」も予定しております。また、西川文化協会と共催で芸術・芸能の発表会も公民館と多目的ホールで開催いたします。

11月には、家庭教育の講座として乳児の保護者を対象に「びよびよ学級」を開催します。また多目的ホールを会場に、映画や民謡民舞のステージも予定しております。

各々の詳しい日時や内容などは、その都度町内会回覧板や区役所だよりなどでお知らせしていきます。皆さまのご参加やご来場をお待ちしております。



西川文化協会

「芸術・芸能秋まつり」

◆芸術展覧会（西川学習館 講堂）

10月18日（土） 10時～17時

10月19日（日） 10時～16時

いけばな・絵画・アートフラワー布花・染織

特別展示 己書

特別出展 水引工芸・切絵・つまみ絵・写真・人形パッチワーク・まつり写真コンテスト

◆芸能発表会（西川多目的ホール）

10月19日（日） 13時～

剣舞道・カラオケ・クラシックバレエ・民謡・フラダンス・相撲甚句・新舞踊・和太鼓



訂正とお詫び

本誌6月発行の第62号「幼児教育」和光幼稚園の記事中、園児のお名前読み方に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

高杉 美月（誤）たかはし みづき

（正）たかすぎ みづき

編集後記

「くそあつちえ」あえて方言で言いたいほど、暑い日がつづきました。それも6月から。春夏秋冬も今年は、春夏秋冬のほぼ二季となるのでしょうか。日本人はやはり「芸術の秋」を意識します。今号も「文化」にこだわりました。

【編集委員】◎江端 繁○灰野直義 榎本 博 土田正博